

議事録

平成 29 年度第 3 回いばらき高齢者プラン 21 推進委員会の開催結果について

日時：H29.11.29（水）13:30～15:25

場所：県庁舎 11 階 1106 共用会議室

長寿福祉課作成

○出席者

・委員：

出席委員：瀧澤 利行委員，山脇 博紀委員，栗盛 須雅子委員，諸岡 信裕委員，森永 和男委員，相川 三保子委員，政安 静子委員，小柳 賢時委員，斉藤 秀之委員，浅野 有子委員，坂本 達保委員，寺野 紘委員，宇田川 真由美委員，沼田 正人委員，佐野 善則委員，丸山 由美子委員，神戸 礼子委員，伊藤 達也委員，宮原 節子委員（出席委員 合計 19 名）

欠席委員：大田 仁史委員，根本 清美委員，竹内 昌信委員，木村 哲之委員，竹之内 章代委員，三村 真理子委員，日下部 好美委員，（欠席委員 合計 7 名）

・事務局：寺門保健福祉部次長，杉山長寿福祉課長，石塚地域ケア推進室長 外

○議事・進行

13:30～

1 開会

13:30～

2 次長あいさつ（寺門保健福祉部次長）

13:31～

委員長あいさつ（諸岡委員長）

13:32～

資料確認

13:34～

諸岡委員長進行

・議事の公開・非公開について諮ったところ，公開で各委員了承。

13:35～

3 議事

(1) 「いばらき高齢者プラン 21 第 7 期」の原案について

・事務局説明 1（杉山長寿福祉課長） **資料 1～3，参考資料 1～3**

① 「いばらき高齢者プラン 21 第 7 期」の原案について

② 第 7 期の数値目標（案）について

(2) 介護保険サービスの見込み等の調査結果（暫定値）について

・事務局説明 2（石塚地域ケア推進室長） **資料 4**

14:00～

・各委員からの主な意見

○ 今後の在宅医療・看取りのニーズを踏まえると，訪問看護事業所の果たす役割が大きくなるので，事業所数を増やすとともに，1 事業所当たりの看護師数も増やしてほしい。

○ 介護保険の保険者（市町村）の機能強化は重要である。

そのために，各市町村において，『地域包括ケア「見える化」システム』が活用できるよう，県の支援をしてほしい。

○ 歯科医師の認知症対応力向上研修が数値目標として新設されることは重要である。

認知症も最後は，飲み込む力，口腔ケアがどれだけできるかにかかってくるので，この取り組みは是非進めてもらいたい。

- 介護人材確保のためには、介護職のイメージアップが大変重要である。
ロボット介護機器の活用などの先進的な明るいイメージをもっとアピールすべきである。
- 現場では、介護人材不足が深刻であり、介護職員を研修に行かせる余裕もなくなっており、研修の開催場所を複数の地域とするなどの工夫が必要である。
- 外国人を介護分野で制度的に受け入れるとなれば、個別の施設での対応では限界があるので、受入体制づくりなどの県の支援をお願いしたい。
- 地域包括ケアシステムを構築するためには、多職種の連携を推進する必要がある。
- 介護の担い手不足のなかで、訪問介護の担い手を確保するためには、地域介護ヘルパーや認知症サポーターの活用が必要ではないか。
- 超高齢社会を迎え、地域における高齢者の「住まい」の確保は大変重要な問題である。

15:24～

(3) その他

- ・ 事務局説明3 (杉山長寿福祉課長)
次回日程 (H30. 2. 7 予定) 及び意見票の提出について依頼

15:25

4 閉会